

「生き物とおはなしする方法」に興味津々

ニュース

市立湯川小学校で出前講演

地域の方に協力いただきながらホタルを育てたり、ピオトープで自然に親しむ環境づくりを行ったりしている湯川小学校で、多くの子どもや保護者・地域の方々が参加して、11月24日(土)、飯島博先生による出前講演が行われました。

飯島先生は、国内第2の湖・霞ヶ浦の環境再生を目標に、流域の170を超える小学校などの教育機関や企業、行政、農林水産業を結ぶ市民型公共事業「アサザプロジェクト」を展開しています。

先生は、「生きものとおはなしする方法」を体のつくり・くらし・すみかの3点から考えさせる中で、自然と人間の調和は自分と違う人(生きもの)と同じ立場に立ってお話をするところから始まるということ子どもにも分かりやすく楽しく説明されました。



なお、今回の出前講演は、環境緑化の増進を目的に活動している(社)北九州緑化協会の協力により実現したもので、前日の11月23日に、九州厚生年金会館で、同協会主催のシンポジウム「都市と自然の共生」が行われ、飯島先生は講演のため来北されていたものです。